

今後の日程

(1月)

- 4 仕事はじめ
- 8 執行委員会・県委員会・旗びらき
(ダイワロイネットホテル)
- 15 企業連交礼会 (ダイワロイネットホテル)
- 18 ライチタイムデモ
- 23～24 よみかき交流会
- 26 第16回和歌山・人権啓発研究集会
(プラザホープ)
- 30～31 第38回全国人権保育研究集会(高知市)

◆各支部の旗びらき

- | | |
|--------------|------------|
| 5 新宮 | 10 岩橋、古和田 |
| 6 湯浅 | 15 笠田東、有田市 |
| 7 平井、御坊 | 16 岩出 |
| 9 杭ノ瀬、善明寺、那賀 | 24 名古曾 |

組織部で 合同学習会ひらく



リバティおおさかの現状と
水平社宣言について説明する朝治武館長

はじめに松井資喜・青年部長のあいさつのもと、大阪人権博物館の朝治武館長を講師に「水平社宣言の思想」について学習した。30年前に設立されたりバ

水平社の意義を 再度、確認

青年部・女性部
学習会

同和企業センターで11月29日、青年部女性部主催・合同学習会をひらき、68人が参加した。

ティおおさかも補助金が打ち切られた3年前から自主運営している。土地が大阪市の市有地であり、館を閉館して返還するよう7月23日に提訴されたことなど、大阪の人権をめぐる極めて厳しい状況が訴えられた。学習会では、水平社宣言は創立から3年後にできた解放歌と常にセットにして、さまざまな大会で読み上げられてきた。綱領は、組織の最も大事な原則が記された「特殊部落民は部落民自身の行動によって絶対の解放を期す」の「特殊部落民」は、1987年(明治30年)頃に奈良県から三重県へと広がった差別語で、差別と闘うものがその差別語を使うことで社会への抗議の意味を表している。差別されたものがみずから立ち上がった行動をおこす、自主解放の精神を主張している。また、残りのふたつは経済と職業の自由がなかった社会のなかで、生活が豊かになるよう努力し、社会にも要求すること、「吾等」は人間性の原理に覚醒し人類最高の完成に向かって突進すの「吾等」は、すべての人をさし、部落差別をする人の人間性を蝕んでおり、相手の人間性をも回復させるといふことで、差別を憎んでも差別した人を憎



参加者で記念写真



生いたちから今にいたるまでを語る
藤本議員

開催にあたって、山本昌代・女性対策部長は「今年には多くの節目の年で、これを機会に振り返り今度の運動にどうつなげていくかを考えなければならぬ。今日会場には平井の昔のパネルと、この一年間の女性部活動の写真を展示している。有意義な研修をしよう」とあいさつした。

研修①は藤本眞利子・和歌山県議会議員より「県政報告」がされた。自身の生い立ちと部落解放運動にか

研修④のグループ討議では5つのグループに分かれて、今回の研修について話あった。参加者の感想は、とてもタイトなスケジュールでの研修であったが、顔をみるだけで話したことがよかったです。和歌山の部落女性の歴史はシリーズ化して聞きたいなどといった声があった。

研修②は「和歌山の部落女性の歴史」戦前編を(二社)和歌山人権研究所の矢野治世美さんより、和歌山の部落史の7巻を手掛けるなか、部落の女性にかんする資料が少ないことから、研究をつづけている。和歌山での婦人水平社の結

支局からのお知らせ

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思っております。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！ 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先)〒640-0831 和歌山市神前405-3 部落解放同盟県連合会内 解放新聞和歌山支局宛

お気軽にお電話を!

ランタイムデモ

憲法の破壊を許さない
ランチTIMEデモを12月8日、和歌山市役所から京橋プロムナードまで約100人がデモ行進した。この日はアジア・太平洋戦争がはじまった日でもあり、参加者から招集令状(いわゆる「赤紙」)の縮小ビラがまかれ、戦争反対の意思を示した。

「戦争は許さない」と力強くデモ行進する参加者たち

まないという大事な思想で、人間に立ち返る運動をしなければならぬということ。「宣言」は、その綱領をふまえて、くわしく説明したものだ。また、三つの「綱領」の人間解放の精神が各地に広まって、女性や少年少女にも広がり、婦人水平社や少年少女水平社

が創立され90周年であることについて、当時の『水平新聞』の記事をもとに説明された。宣言のなかに「男らしき」や「兄弟」など女性の視点がないことについては、被差別民が書いた初めの人権宣言という歴史の価値を考えれば、大事にしなければならないが、

2020年には水平社100周年なので、今の時代に合った新しい水平社宣言を作りたいと提案された。質問や感想が寄せられたあと、北内ますみ・女性対策副部長の閉会あいさつで2時間の合同学習会をおえた。

日頃の悩みや解放運動から次代の運動につなげる 1泊研修

県連女性部の1泊研修会を12月12日・13日、白浜町、ホテルシーモアでひらき、14支部39人が参加した。

かわった経緯、小学校の教師から議員になるまでが語られ、いま最も力を入れていくことは、学校図書書の環境を改善することだと話された。